

# 江田島市中町／宇品航路指定管理者募集に係る選定結果について

平成27年1月22日  
江田島市

## 1 募集の概要

### (1) 募集期間

平成26年11月7日（金）から平成27年1月5日（月）まで

### (2) 申込者（2社）

- ・瀬戸内シーライン株式会社  
（広島市南区宇品海岸一丁目12番23号：代表取締役 仁田 一郎）
- ・株式会社江田島オーリーブライン  
（江田島市能美町中町4823番地3：代表取締役 上村 隆彦）

## 2 審査の概要と結果

### (1) 指定管理者選定委員会の開催日

平成27年1月19日（月）14時～

### (2) 審査の方法

指定管理者選定委員会において、申込者からの申請書類等に基づきヒアリングを実施のうえ、あらかじめ定めた評価項目ごとに採点を行い、合計点数が最も高く、かつ、安定的に航路が運航できる案を提出した者を、江田島市中町／宇品航路の指定管理者の候補者として選定する。

### (3) 審査基準

評価項目	点数
評価の視点	
1 経営の基本的な考え方	5
① 団体の基本理念、方針、行動規範等が記載され、全職員等が目標に向けて邁進していけるような考え方を持っているか。	
② 広報に関して、しっかりとした体制や考え方が確立されているか。	
2 職員の配置および執行体制	5
① 責任者を含め職員の配置が適正であり、組織図に執行体制が記載され、各業務に必要な職員が配置されているか。	
② 労務管理に関する体制が確立されているか。	
3 運航計画	10
① 公募条件で示したサービス水準（P10～11「6管理に関する基準」）が満たされているか。	
② 経費削減策や将来の構想等があるか。	
4 要員計画と確保力	20
① 当初の要員計画および年間要員計画が記載されているか。	
② 要員計画に経費削減策や将来の構想等が記載されているか。	
③ 運航に必要な体制を確保できるか。	
④ 市船員が指定管理者へ就職を希望する場合、採用・処遇に配慮できるか。	
⑤ 船員の雇用に当たり、江田島市民の雇用に配慮されているか。	
5 利用促進および増収計画	10
① 利用促進策や増収対策のアイデアがあるか。	
② その他、具体的かつ有用な自主事業の提案はあるか。	

6	事業収支計画	20
	① 事業の採算が取れる計画となっているか。また、収益率は高いか。	
	② 収入の見込み、経費等の支出の見込みは適切な数値となっているか。	
	③ 経営の安定性と継続性はあるか。	
7	資金計画	5
	① 継続的に事業を進められる資金計画になっているか。	
	② 事業の継続に必要な資金力があるか。	
8	教育体制	5
	① 教育マニュアルを作成し、教育体制が確立されているか。	
	② 安全・サービス・生産性等を職員へ教育できる体制になっているか。	
9	運輸安全マネジメント対応マニュアル	5
	① 運輸安全マネジメント対応マニュアルが整備されているか。	
	② 安全統括管理者等が選任されているか。	
10	地域への貢献	5
	地域貢献や地域連携に関する実績や、具体的な計画案があるか。	
11	その他	10
	① 緊急時（事故および災害など）に対応できる資金があるか。	
	② 既存の事業の採算性に課題はないか。	
	③ 利用者ニーズの把握およびその反映は十分に行えるか。	
	④ 江田島市との連携体制を確立し、業務報告等を十分に行えるか。	
総合評価点		100

### 3 審査委員

職名	氏名	所属等
委員長	正井 嘉明	江田島市副市長
委員	小嶋 光信	(一財) 地域公共交通総合研究所 理事長 両備グループ 代表・CEO
〃	水戸岡 鋭治	(株) ドーンデザイン研究所 代表取締役 九州旅客鉄道 (JR九州) デザイン顧問
〃	齋藤 禎治	齋藤公認会計士事務所 所長 (日本公認会計士協会中国会推薦)
〃	野原 建一	県立広島大学名誉教授 江田島市公共交通協議会議長
〃	木村 洋	広島県地域政策局地域力創造課 課長
〃	塚田 秀也	江田島市教育長
〃	前 政司	江田島市企業局長 (施設管理部長)

#### 4 審査結果

審査の結果、瀬戸内シーライン株式会社の提案を採用し、江田島市中町／宇品航路の指定管理者の候補者として選定した。

団体名	(A)瀬戸内シーライン株式会社	(B)株式会社江田島オーリーブライン
順位 (点数)	① (77.13点/100点)	② (66.78点/100点)
総評	<p>審査基準に基づく総合的な評価を行った結果、すべての評価項目で(A)の方が高い評価となった。</p> <p>(ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・評価項目4「要員計画と確保力」 当初の要員計画や運航に必要な体制の確保について、(A)の提案の方が、確実性が高いと評価された。</li><li>・評価項目3「運航計画」 経費削減策や将来の構想等について、(A)の提案の方が、具体性があると評価された。</li><li>・評価項目5「利用促進および増収計画」 利用促進や増収対策のアイデア等について、(A)の提案の方が、具体的で着実な実施が見込まれると評価された。</li></ul>	

※点数は、各委員の平均点